

教科名	商業	科目名	プログラミング（3年次）【3単位】	
授業形態	講義形式+実習（プログラム言語を使用）			
選んでほしい生徒	前年度に「情報処理」を履修し、プログラミングに関する基本的な知識や技術を身に付けた人。			
科目の目標	コンピュータを使った情報処理の仕組みについて理解し、プログラミングに関する知識と技術を習得し、情報を合理的に活用するとともに、コンピュータを効果的に活用する能力と態度の育成を図る。			
身に付けてほしい学力	1 コンピュータの効果的な運用方法を理解する。 2 プログラム言語の基本的な使用方法とプログラミングのアルゴリズム的な考え方を身に付ける。簡単な実習を継続的に行うことにより、プログラミングの流れを自分自身が体験することで達成感を味わう。			
学習計画	単元・教材		学習のあらまし	
	【1学期】 Ⅰ コンピュータとプログラミング Ⅱ プログラミングの基礎① 【2学期】 Ⅲ プログラミングの基礎② Ⅳ ハードウェア Ⅴ ソフトウェア 【3学期】 Ⅵ プログラミング応用		・ビジネス活動を行うにあたり、プログラムとコンピュータとの関わりについて体験的に学習する。 ・イベント駆動型のBASIC言語を利用して、基本的なプログラム作成の知識や技術を身に付ける。 ・応用ソフトウェアを開発するための知識や技術について理解する。	
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	・情報処理の仕組みとプログラミングについて関心を持ち、ビジネスの諸活動によって生じた情報を処理し、効果的に活用する学習に自分からすすんで取り組むことができる。	・ビジネスの諸活動によって生じた情報を的確に把握し、プログラミングに関する基礎的・基本的な知識と技術を活用して、効率的なプログラムを作成するために、様々な角度から考察しようとする。	・プログラミングに関する基礎的・基本的な知識と技術を身に付け、基礎的なプログラムを作成することができるとともに、応用的な技術をさらにすすんで活用しようとする。	・コンピュータを使った情報処理の仕組みとプログラミングに関する基礎的・基本的な知識と技術を身に付け、ビジネスの諸活動に関する情報を合理的に処理し、活用する方法を理解している。
	上記の観点を踏まえ、定期考査、提出物、授業態度、出席状況等を以上を総合的に判断して評価する。			
学習のアドバイス	1 プログラミング統合環境を基本的な操作方法から学習するので、毎時間の積み重ねが大切となります。 2 色合いや画面構成など各自が自由に設計しながら実習に取り組むので、自分独自の画面設計ができます。 3 定期考査は、授業で学習したことを中心として出題されるので、板書事項だけでなく、実習内容についてももしっかりメモしておいて、考査前に見直すといよい。			
教材費	特になし			
その他	1 希望により検定を受験することもできます。 2 実習作品は、同じ授業を履修した生徒どうして相互的に評価し合いますから、その結果が成績にも反映されます。			